



ご 挨拶

会長 水谷 榮一(D40)

緑会会員の皆様には平素より一方ならぬご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成23年度総会で承認された緑会の行事は幹事長初めとして役員の方々、学内幹事の諸先生方の積極的なご支援により滞りなく進捗し、6月の総会(別掲載参照)を残すのみとなっております(参加費は無料ですので多数の方々のご参加をお願いいたします)。

今年度特筆すべきことは、従来の3部構成からなる「講演会・懇談会(キャリアサポート交流会)」の行事内容を、ワーキング・グループを組織して徹底的に検討した結果「キャリアサポート交流会」に的を絞って大学内で開催し、好評を博したことです。

昨年、日本では、はやぶさの帰還・なでしこジャパンの優勝など誇示すべき出来事があったものの、国内では東日本大地震(津波)を初めとする地震災害(原発事故)や台風・集中豪雨による大洪水の発生、海外ではクライストチャーチの地震や中国・タイなどの大洪水による大きな被害など、自然の怖さも知らされました。また、日本経済は異常な円高、株価の下落、東日本大震災・タイの大洪水による生産低下、また米・欧経済の混乱など、ますます先行き不透明な状況にあ

ります。

この状況下で3月2日(金)に本学講堂会議室で開催された緑会主催の「キャリアサポート交流会・懇談会」は、企業52社90余名(うち緑会OB 50名超)、学生260名、教員39名、緑会幹事10名の参加を頂きました。開催に先立って行われた参加企業への挨拶及び就職予定学生への趣旨説明会は、以前には無かった新企画であり、緑会の存在価値を高めることができたと思います。その後、交流会に移り、企業紹介のポスターを中心に企業説明者と学生が直に話し合う場を設け、2時間30分という十分な時間をかけて実施しました。交流会後は内定者・企業関係者・教員の「懇談会」を約1時間行い親睦を深めました。交流会終了後のアンケート集計結果では参加企業、学生とも“有意義であった”との回答が多くありました。

本年6月の緑会総会では、若返りを画して役員改選が予定されています。小生、幹事長を仰せつかってから8年、役員の方々、学内諸先生には適切にご指導・ご鞭撻を賜りました。ここに改めて厚く御礼申し上げるとともに、新役員の方々には緑会の「永遠の存続と繁栄」をお願いして挨拶とします。



ご 挨拶

幹事長 緑 静男(D42)

名古屋工業会名古屋支部の諸行事遂行の担当は慣例として単科会の輪番制になっています。平成22年、23年度の2年間は緑会が担当しましたが、単科会は10余ありますので20余年振りのことでした。行事として、9月に“総会と見学会”(参加者130名程度)、1月に“新年互礼会”(参加者130名程

度)、3月に“工場見学研修会”(参加者35名程度)を開催します。このうち“新年互礼会”は、工業会理事長はじめ役員の方々、三河支部他の東海地区の各支部長を招待しますので、東海全体の行事です。

これらの行事を計画して実施するために、各単科会よりそ

れぞれ数名、担当の緑会は10名程度、全体で30～40名の連絡幹事が集まり、年4回連絡幹事会を開催しています。また4月には、単科会の輪番の交代の年は総幹事会、交代でない年は全幹事会を行っています。緑会担当のメンバーは名古屋支部長が水谷尚美氏、幹事長が緑、他の連絡幹事（学内、学

外）10名弱の体制でした。そのうち学内で22年度庶務幹事北川先生、会計幹事水野先生、23年度庶務幹事岩田先生、会計幹事平下先生がそれぞれ担当され、大変尽力していただきました。この紙上を借りて厚くお礼申し上げます。



ご 挨拶

生命・物質工学科 副教育類長 川崎 晋司

緑会の皆様には、日頃より本学科へ多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年3月には、皆様にお世話になりました学生たちがそれぞれの新しい活躍の場へ巣立っていきました。昨年は、千年に一度とも評される大震災が起こり経済活動も停滞を余儀なくされました。ここ数年ようやく回復のきざしが見えていた求人状況も一転し、報道によれば全国平均の内定率はかなり低くなってしまったようです。しかし、本学科におきましては、多くの皆様からご支援を賜り、学部生、大学院生ともにほぼ全員就職できました。まさに疾風に勁草を知る、という思いです。これもひとえにこれまで卒業生の皆様のご活躍に培われてきた信用があつたのことで、ここにあらためて感謝申し上げます。

さて、昨年4月に有機化学分野の平下恒久先生と化学工学分野の岩田修一先生がともに准教授に昇任され、教育体制の一層の充実が図られました。昨年12月には永らく本学科のた

めにご尽力いただきました化学工学分野の長津雄一郎助教が東京農工大学に准教授としてご栄転されました。新天地でのますますのご活躍をお祈りします。その一方で今年3月には南雲亮助教が化学工学分野に着任されました。また、今年4月には化学工学分野の加藤禎人先生と高分子化学分野の青木純先生がともに教授に昇任されました。若手のお2人が教授陣に加わり教育・研究の推進力が格段に大きくなったと感じています。

時代の変化とともにめまぐるしく変わる社会の要請に応えるべく本学科も教育・研究体制の整備を行ってまいりました。一方でいつの時代にも必要となる基礎教育の充実にも一層の努力を払っていく所存です。皆さま方には、これからも大学、学科へのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後に、緑会会員の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



ご 挨拶

生命・物質工学科 副教育類長(就職担当) 柴田 哲男

緑会の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。この度、平成24年度の就職担当という責任を仰せつかりました。皆様が日頃より本学、本学科へ多大なご支援をしてくださることに厚く御礼申し上げます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から一年が経過しましたが、被災地ではいまだ不自由な生活を強いられている方々が多いと聞きます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。この震災で日本中が大きな試練に直面しました。各企業の運営・活動状況にも多大な影響が起き、そのため平成23年度に就職活動を行っていた学生にとっては大きな戸惑いになった1年でした。しかし、そのような厳しい状況下においても、本学科では、終わってみればほぼ100%というすばらしい就職内定率で無事に学生を社会に送り出すことができました。これもひとえに本学の先輩方のご功勞の賜物であると感じており、ここに御礼申し上げます。また、東日本大震災により、化学という分野が社会において非常に重要な役割を担っていることを改めて実感しております。新しくかつ安全

なエネルギー源の開発は緊急を要する課題であり、放射性物質の処理、廃棄物のリサイクルなど、化学によって解決すべき問題は山積みであることが浮き彫りになってきたように思えます。今こそ、学生教育に力を注ぎ時代を担うひとつに励んでいきたいと思っております。

さて、平成24年度の就職活動が始まっております。年々厳しくなる就職活動に、学生たちは大きな不安を感じております。そのためか、残り少ない大学・大学院での研究期間の大部分を犠牲にして、就職活動に充てている状況が多々見受けられます。こういった状況は先にも述べましたように、化学を担う人材育成に対して、大きな逆風になってしまいます。大学生活のクライマックスともいえる研究活動は、わずか1年や2年といった短期間であるにも関わらず、学生を大いに成長させる大切な期間であります。私どもは常々社会に貢献できる学生を育成したいと切に願っており、学生の勉学・研究時間の確保や負担軽減はその根底を支える部分です。例年に引き続き同窓生の企業の皆様には就職活動に対して、温か

いご理解とご支援を賜りますよう、ここに深くお願いする次第です。

緑会の皆様のご健康と発展、またこれからも親密な協力の

もと学生が立派に羽ばたいてゆく喜びを共に分かち合えるように願ひ私の挨拶とさせていただきます。

◇◇◇ 東京支部だより ◇◇◇

東京支部長 三山 雅敏 (D38)

大震災から1年が経ちました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りすると共に、全ての被災者の皆様が心穏やかに過ごせる生活に戻ることを心よりお祈りいたします。

さて、緑会東京支部23年度の活動ですが、2回の学年幹事会開催と名工会東京総会に併せ開催される緑会秋の集いがあります。昨年4月の幹事会では、緑会本部、名工会本部・東京支部の活動報告、緑会東京支部の平成22年度行事報告・収支決算、平成23年度行事予定・予算の審議、出席者近況報告がありました。出席者近況報告では、東日本大震災の被災状況、復興支援のあり方などが話されました。9月の幹事会では、同様の上部団体の活動報告、名工会東京支部総会・緑会秋の集いの参加者勧誘方法の審議や出席者の近況報告がありました。11月開催の名工会東京支部総会（緑会26名が参加）

は、参加者数は緑会がトップでありました。名工会東京支部主要活動のエクスカッション、ごきそサロン、ゴルフ会の幹事は緑会役員が担当しています。

緑会東京支部では24、25年度役員として新体制で臨むことになりました。支部長にD44岡本利郎氏、幹事長にD45鈴木満雄氏が就任されます。また、名工会東京支部の24、25年度支部長は緑会が担当となり、支部長にはD41阿部完二氏、幹事長に当たる総務にD51松居和治氏が就任される予定になっております。小生は、緑会本部副会長・東京支部長を退任しますが、在任中関係諸氏から賜りましたご厚誼に深く感謝申し上げますと共に、これら新体制役員に対しても倍旧のご厚誼、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

◇◇◇ 近畿支部だより ◇◇◇

近畿支部長 末利 鏡意 (D41)

緑会近畿支部では、H23年7月2日「近畿支部総会」を開催し、名工大から川崎晋司教授に「ナノカーボンのエネルギーデバイスへの応用」と題して特別講演して頂きました。（参加者22名）。毎年春と秋に「ゴルフコンペ」を開催しており、中部と近畿の中間の下柘植にありますルート25で、中部の方々も参加して交流しております。（参加者：毎回15名程度）。つれづれもって行こか、ではありませんが、気楽に参加できる「つれづれ草の会」を開催しております。冬に玉乃光酒造の見学会を催し、銘酒のできる工程を見学した後、

試飲を楽しみました。

名古屋工業会大阪支部との連携を深め、多くの役員を兼務しております。H23年11月12日開催の名古屋工業会大阪支部総会では、緑会近畿支部が担当し、特別講演には日本ガイシ元副社長の水谷尚美氏（D42）に「ハニカムセラミックスとの出会いとその後の展開」と題して講演頂きました。工業会大阪支部では、見学会やハイキング（歴史探訪の会）を年に2回開催しており、緑会会員も企画実施に参画し、多くの会員が積極的に催しに参加しています。

新任教員紹介

就任挨拶

南雲 亮

2012年3月1日付けで、生命・物質工学科の助教として着任いたしました南雲亮と申します。本会の皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私はこれまで、膜による水処理やガス分離、CO₂回収などの化学プロセスをキーワードに、化学工学の立場から、計算化学によるシミュレーション研究を進めてまいりました。実機レベルの「マクロ」な領域と、原子・分子レベルの「ミクロ」な領域を融合することで、従来とは趣の異なる、学術的

にも実学的にも面白い知見が得られるのではないかと、そのような期待を胸に抱きつつ、研究活動を進める所存でございます。

前職では約2年、仙台に在住しておりました。その折、日本は先の震災に向き合うこととなりました。近隣の状況を見聞きする中で、大学教員として教育・研究に従事することの意義を、より一層意識するようになりました。人生には予期することの困難な、種々の出来事がつきものと、若輩ながらも考えております。そうした局面を打開できるような人材の育成に貢献できるよう、本学にて、研鑽に励んでまいります。

本会の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

平成23年度卒業生就職先一覧

●博士前期課程●

アイシン精機(株) アイテック(株) 旭硝子(株) (株)アドヴィックス
アビ(株) エア・ウォーター(株) 大阪印刷インキ製造(株) 花王(株)
京セラ(株) 共立マテリアル(株) (株)共和 (株)クラレ (株)コジマ
ユニシ(株) サカタインクス(株) 三洋化成工業(株) (株)GSユアサ
JSR(株) 十全化学(株) スギムラ化学工業(株) 住友化学(株)
(株)スリーボンド 積水化学工業(株) 大豊工業(株) 大陽日酸(株)
タカタ(株) 中部電力株式会社 東海ゴム工業(株) 東邦ガス(株)
東洋ゴム 東レ(株) (株)豊田自動織機 豊田通商(株)
西日本電信電話(株) 日揮プラントソリューション(株)
日東電工(株) 日本ゼオン(株) 日本特殊陶業(株) 日本アルシー(株)
日本ガイシ(株) (株)日本触媒 日本電産(株) 日本ブチル(株)
(株)ノリタケカンパニーリミテド (株)バイエル薬品
浜松ホトニクス(株) パロマ(株) フタバ産業(株) 三浦工業(株)

三井化学(株) 三井金属鉱業(株) 三菱自動車工業(株)
(株)村田製作所 メニコン(株) (株)八神製作所 矢崎総業(株)
リンナイ(株)

●第一部●

イチビキ(株) イビデン(株) 小野薬品工業(株)
協和発酵ケミカル(株) 中部日本電気ソフトウェア(株) ニプロ(株)
富士高分子工業(株) フタバ産業(株) ホーユー(株) 矢崎総業(株)
山崎製パン(株)

●第二部●

(株)伊藤建設工業 大分キャノンマテリアル(株) 化成工業(株)
(株)川本製作所 曾我ガラス(株) (株)都筑 東海サーモ(株)
(株)トーカイ 豊臣機工(株) 日本ガイシ(株) (株)フォノン明和

平成24年度 緑会総会のご案内

緑会総会・講演会を下記のように開催いたします。
今年は、昭和37年平成2年、平成14年卒業の方は50周年、30周年、10周年の節目となります。
同窓生をお誘い合わせの上、ご参加ください。
今回も多くの方にご出席いただけるよう、懇親会会費は無料といたします。
準備の都合上、ご出席のご連絡は、6月18日(月)までお願い致します。

記

日 時 平成24年6月30日(土)14時より
場 所 名古屋工業大学2号館1階0211(旧F1)教室
○総 会
○大学近況報告
○学術講演
題目「海外企業との合弁による事業プロジェクトの推進」
講師 神鳥 彰徳 氏 (D42) 元宇部興産(株)
○懇親会 校友会館 16:30 - 18:00
連絡先 学内幹事 midori@ach.nitech.ac.jp

名工大、緑会、工業会ホームページの紹介

最新の情報をホームページに掲載しております。
名工大HP : <http://www.nitech.ac.jp/>
緑会HP : <http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/>
名古屋工業会HP : <http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

住所変更などの連絡は以下をお願いします。
e-mail : midori@ach.nitech.ac.jp
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学同窓会「緑会」